

令和 3 年度 施策評価表

施策	0702	障がい者の社会参加の促進	施策担当部等	福祉保健部	部長	川下 隆治
			施策担当課等	障がい福祉課	課長	西村 隆
施策の方針	障がい及び障がい者に対する理解を促進し、障がい者の活動環境の整備や地域における支え合いの体制づくりを進めるとともに、障がい者一人ひとりの身体と心の健康づくりに取り組む。					
関連するSDGsのゴール						

【DO(実施)】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 県障害者スポーツ大会年間参加者数	人	135	179 183	195 175	212 97	231 92	251 0	0.0%	0.0%
② 手話奉仕員など各種養成講座の年間参加者数	人	60	72 93	79 69	86 116	94 102	95 5	5.3%	5.3%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ① 県障害者スポーツ大会は例年5月下旬の開催であるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止により開催中止となった。
- ② 各種養成講座は令和元年度と同様4講座を開催予定だったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止により1講座のみの開催となったため、実績値が目標値を大きく下回った。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	27,530	34,022	35,597	
	国庫支出金	5,306	6,305	6,807	
	県支出金	2,653	3,154	3,405	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	19,571	24,563	25,385	
人件費	4,472	4,805	-		
フルコスト	32,002	38,827	-		

施策の概要

070201	こころのバリアフリーの推進	障がいのある人とない人との相互理解を深める「こころのバリアフリー」を推進するため、イベントやスポーツ大会など、様々な機会を捉えて障がいに関する理解の促進や広報に努めます。
070202	生活しやすい環境づくり	障がい者の社会参加を促進するため、外出支援の充実や施設のバリアフリー化などの環境整備を進めます。
070203	健康づくりの促進	障がい者一人ひとりが安心して社会生活を営むことができるよう、健康診査、健康相談等の充実など、身体と心の健康づくりに取り組みます。 また、内部障がい等の大きな原因となる高血圧、糖尿病などの生活習慣病やうつ病などの精神疾患等について、発症や重症化の予防に努めます。
070204	地域で支え合う体制づくり	市民一人ひとりが共に支え合う地域社会を構築するため、住民参加型の福祉活動を推進し、市内の各種福祉団体や市民活動団体等との連携強化を図ります。 また、日常生活での安全対策や災害などの緊急時に備え、安否確認や避難・誘導などを行うための支援体制づくりを進めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>障がい者の社会参加を促進するため、意思疎通をはじめ様々な支援に関わる人材育成が必要である。「手話奉仕員養成講座」や「要約筆記者養成講座」等の各種講座の開催を通じて、障がいのある人とない人との相互理解、障がいや障がい者に対する理解を促進することが重要である。</p> <p>また、障がい者が生活しやすく社会参加しやすい環境を整備することも重要であり、障がい者のニーズを把握するとともに、現在の取組の見直しを検討する必要がある。</p>
-------------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>障がいや障がい者に対する理解、障がいのある人とない人との相互理解は、様々な機会を捉えた情報発信や各種講座の開催など、地道な取組を継続していく必要がある。また、障がい者等のニーズが多様化、複雑化している中で、真に必要とされていることを的確に把握し、適宜見直しに取り組む必要がある。</p>
---	--

令和4年度新規事業

	事業名 (仮称)	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	